

ブラックスタート電源確保費用について

2022年10月5日
中国電力ネットワーク株式会社

ブラックスタート電源確保費用について

- ブラックスタート機能公募において、「**発電所数**」は、これまで**審議会等で統一的な考え方が整理**されております。
- 一方、「**ユニット数**」は、必要な**予備ユニット数の考え方について特に整理されたものはありません**でしたが、第71回制度設計専門会合(2022.3.24)での技術検討の実施要請を受け、**全社統一的な考え方を整理**しました。(当社は、2発電所5ユニットから2発電所4ユニットに見直しが可能として報告)
- こうした状況を踏まえ、**公募未実施の2027年度**については、**見直し結果を反映したユニット数**で見積費用を算定しております。

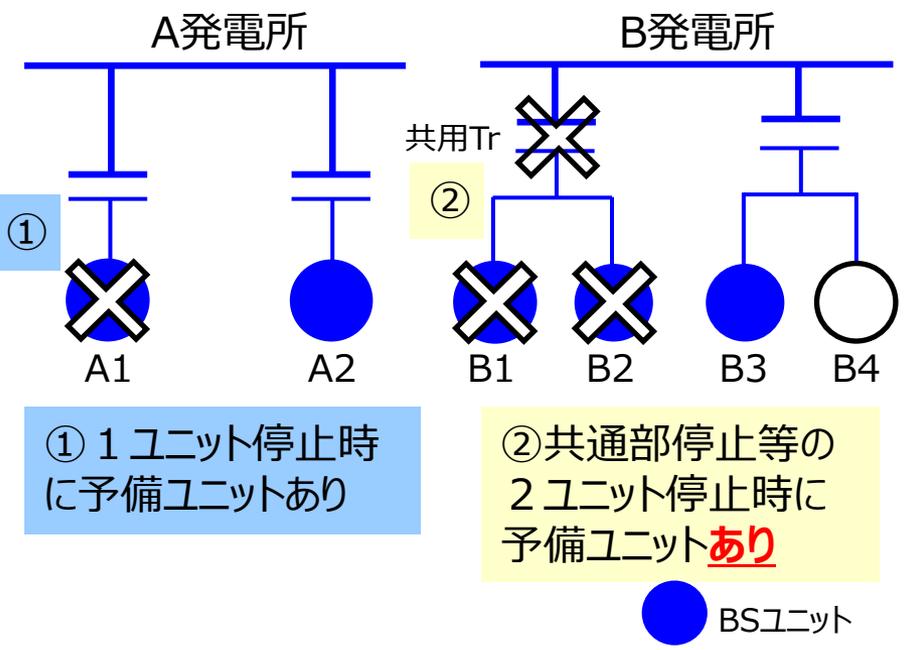
調達対象時期	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
公募実施時期	電源Ⅱ契約で 調達予定	2020年度	2021年度	2022年度	2022年度
ステータス		契約済	契約済	契約済	2022.10～ 公募開始予定
募集量	2発電所 5ユニット				2発電所 4ユニット
発電所数の 統一的な考え方	(2019.3.27)第5回電力レジリエンス等に関する小委員会 (2021.11.16)第67回調整力需給バランス評価等に関する委員会				同左
ユニット数の 統一的な考え方	－ (特に整理されたものがない状況)				(2022.6.23)第74回 制度設計専門会合
BS機能公募 約定結果	－	74億円	71億円	72億円	56億円
容量市場拋出金※	－	73億円	34億円	71億円	55億円
見積値	0.2億円	1.2億円	37億円	0.5億円	0.4億円

※経過措置控除係数や最低保証額を考慮した補正值

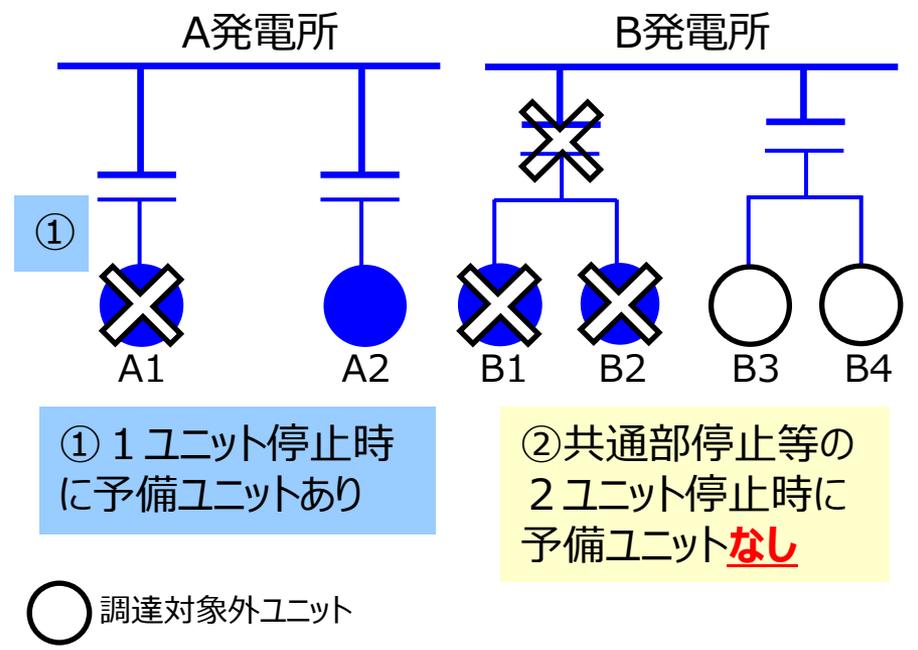
調達ユニット数の考え方

- 予備ユニット数の考え方について特に整理されたものがなかった**2026年度分までは、①ブラックスタート機の1ユニット停止、および②共用変圧器といった共通部の停止等に伴う2ユニット停止のリスク**を考慮し、2発電所5ユニットとしています。
- 予備ユニット数の**統一的な考え方を整理後の2027年度分以降は、①ブラックスタート機の1ユニット停止のみを考慮**し、2発電所4ユニットとしております。
(共通部停止等の2ユニット停止時は、B発電所のサイト停止と同様にA発電所から復旧を行う。)

<2026年度まで (既契約) >



<2027年度以降 (未契約) >



予備ユニット数の統一的な考え方〔第74回制度設計専門会合(2022.6.23)〕
 予備的にBSユニットを確保する際は、BSユニットや共用送電線が一部停止 (N-1) しても現状の信頼度 (復旧時間) を損なわない範囲を上限とする